

すごい雨でした。6月30日から4日の午前8時までの降雨量は、名立区平谷で338ミ、吉川区川谷で303ミ、柿崎区北黒岩で293ミに達しました。7月降水量の平年値（高田区の大手町で210・6ミ）を大きく超える降雨だったということです。

この豪雨で道路法面の崩落（柿崎区下牧地内）、堤防の一部崩壊（吉川区福平地内）、田んぼの冠水（吉川区鳥越橋上流）など各地で被害が発生しました。また板倉区柄山、上久々野の一部、和田区全域、保倉区、北諏訪区、頸城区の一部、吉川区の一部などに避難勧告が出されました。また、柿崎

区の一部には避難指示が出される事態となりました。避難者はのべ281人でした。

日本共産党議員団は1日の朝から手分けして、降雨、被災状況の確認、避難所訪問などの活動を展開しました。私は頸北地域、東頸地域を中心に活動しました。

今回の豪雨で思ったことのひとつは河川改修の進み具合が被害が出るかどうかを左右するということとです。

例えば吉川区の吉川橋周辺地域。ここは水害常襲地帯と呼ばれていましたが、ここ数年の間に吉川橋の架け替えとともに河川の改修が行われました。地元の人たち

は、「すれすれセーフだった。改修がされていなかったなら、完全に代

石や鳥倉団地などに水が流れ込んでいた」とのべていました。また、河川の水が橋の床板の底部まで10センチと

迫った柿崎区の桜町橋周辺でも似たような話を聞くことができました。改めて、河川改修のピッチを上げるよう関係機関に求めていく必要があるなと思った次第です。

全市域での豪雨は初めて

今回は2005年（平成17）の14市町村合併以来初めて、ほぼ全

油断大敵。いまこそ水害対策の総点検を！

1日、3日の集中豪雨、平年7月1か月分の雨量超える



【写真上】3日の7時9分撮影、吉川橋上流。
【写真中】1日の13時41分撮影、大島区大平。
【写真下】1日の16時29分撮影、頸城区の松本。



【オタカラコウ】キク科の多年草。漢字で「雄宝香」と書きます。花期は7月から10月。花茎の高さは1から2。茎の上部に黄色い頭花を総状につけます。とにかく大きい。桑取地区の横畑にて22日撮影。



3日6時43分。柿崎区上原橋下流。雑木除去が必要。

市域での豪雨となりました。大きな被害はあまり出なかったものの、避難情報の出し方、避難の仕方、災害対策本部の対応などで教訓とすべきことがいくつもあつたはず。これらは速やかに振り返って点検し、次の災害に備えるべきです。

7月はこれまで7・11水害、6年前の7・30水害など、上越地方各地に大きな災害をもたらしてきました。7月はまだ始まったばかりです。油断することなく、次の豪雨に備えましょう。

はしづめ法一の活動レポート

No.1813 2017.7.9

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見たある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

すごい雨でした。6月30日から4日の午前8時までの降雨量は、名立区平谷で338ミ、吉川区川谷で303ミ、柿崎区北黒岩で293ミに達しました。7月降水量の平年値（高田区の大手町で210・6ミ）を大きく超える降雨だったということです。

この豪雨で道路法面の崩落（柿崎区下牧地内）、堤防の一部崩壊（吉川区福平地内）、田んぼの冠水（吉川区鳥越橋上流）など各地で被害が発生しました。また板倉区柄山、上久々野の一部、和田区全域、保倉区、北諏訪区、頸城区の一部、吉川区の一部などに避難勧告が出されました。また、柿崎

区の一部には避難指示が出される事態となりました。避難者はのべ281人でした。

日本共産党議員団は1日の朝から手分けして、降雨、被災状況の確認、避難所訪問などの活動を展開しました。私は頸北地域、東頸地域を中心に活動しました。

今回の豪雨で思ったことのひとつは河川改修の進み具合が被害が出るかどうかを左右するという点です。

例えば吉川区の吉川橋周辺地域。ここは水害常襲地帯と呼ばれていましたが、ここ数年の間に吉川橋の架け替えとともに河川の改修が行われました。地元の人たち

は、「すれすれセーフだった。改修がされていなかったなら、完全に代

石や鳥倉団地などに水が流れ込んでいた」とのべていました。また、河川の水が橋の床板の底部まで10センチと

迫った柿崎区の桜町橋周辺でも似たような話を聞くことができました。改めて、河川改修のピッチを上げるよう関係機関に求めていく必要があるなと思った次第です。

全市域での豪雨は初めて

今回は2005年（平成17）の14市町村合併以来初めて、ほぼ全

油断大敵。いまこそ水害対策の総点検を！

1日、3日の集中豪雨、平年7月1か月分の雨量超える



【写真上】3日の7時9分撮影、吉川橋上流。

【写真中】1日の13時6分撮影、浦川原区有島。

【写真下】1日の14時37分撮影、安塚区芹田付近。



【オタカラコウ】キク科の多年草。漢字で「雄宝香」と書きます。花期は7月から10月。花茎の高さは1畝から2畝。茎の上部に黄色い頭花を総状につけます。とにかく大きい。桑取地区の横畑にて22日撮影。



3日6時43分。柿崎区上原橋下流。雑木除去が必要。

市域での豪雨となりました。大きな被害はあまり出なかったものの、避難情報の出し方、避難の仕方、災害対策本部の対応などで教訓とすべきことがいくつもあつたはず。これらは速やかに振り返って点検し、次の災害に備えるべきです。

7月はこれまで7・11水害、6年前の7・30水害など、上越地方各地に大きな災害をもたらしてきました。7月はまだ始まったばかりです。油断することなく、次の豪雨に備えましょう。

はしづめ法一の活動レポート

No.1813 2017.7.9

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四六二回

注文書

その日、私が家に戻ったのは午後一〇時頃でした。母はいつもと違う行動をしたので、疲れて横になっているだろうと思っていたのですが、そうではありませんでした。まだ起きていて、コタツのテーブルの上で書きものをしていたのです。

母が書いていたのは黄緑色の紙。農協の支所が各戸に配布した干しぜんまい注文書でした。ゼンマイ採りに行けなくなっても、ゼンマイを使った料理をして誰かに食べてもらい、「うんめでね」と言ってもらいたいのでしようね。

まだ、書き始めたばかりだったのでしょうか、いきなり、

「とちや、ここの名前はどややって書けばいいがだ」

と訊(き)いてきました。「いったい何を訊いているのだろう」と考えているうちに、母から、

「『はしづめ・のりかず』か『はしづめ・えつ』か」

と続きましたので、「おれの名前でいいこてね」と答えました。

すると、「は・し・づ・め・の・り・か・ず」とゆっくり言いながらボールペンで字を書いていきました。

干しゼンマイを注文したいのは母です。母は注文したい人間の名前を書かなければならないのではと思ったようです。

私は疲れていたもので、コタツのそばで横になりながら母の様子を見ていたのですが、母の真剣な表情には驚きました。細い目で五〇㌔ほど離れたボールペンの先を見据え、一字一字、それこそ丁寧に書いていたのです。

名前を書き終わると、今度は住所です。「とちや、ここの住所はどうやって書けばいいがだ」

と訊いてきました。

「吉川区代石(たいし)でいいよ。番地はいらんよ」

と答えると、

「いらんが」

と言いました。こんな調子で母の質問が

続き、最後に母が訊いてきたのは「お支払方法」でした。これがまた、母を悩ませる書き込み欄だったのです。

「とちや」

「なんだね」

「カネは口座か現金か」

「どっちでもいいよ」

「おれ、カネ、払ってもいいよ」

そこまで会話が進んだところで、注文書を見ると、口座引き落としにマルをつけた場合は「取引先コード」をご記入くださいとありました。私もコードは知りませんし、わざわざ調べるのも面倒なので、母に言いました。

「ほしや、現金にしておきなさい」

と。それで一段落したのですが、おそらく注文書を書き上げるまでには一〇分近くかかったのではないでしょう。

母が干しゼンマイの注文書を書いた日は、朝の三時頃から土砂降りとなり、六時には避難勧告が出ました。防災無線で一斉放送されたこともあって、近くの親戚から「うちに来ないか」と誘ってもらい、母はその親戚の家に半日ほど避難しました。

親戚の家では美味しいものを食べさせてもらい、叔母と懐かしい昔話も楽しんだようです。

お陰で母は家に戻っても元気でした。

「どら、よこしない」と言えばすぐに終わった注文書書きでしたが、母に任せたことで、ゆっくりでも自力で注文しようとする母の頑張りをみることができました。

この夏、新潟の野球が面白い！

6月30日、吉川コンプラで行われた「夏の新潟野球・その楽しみ方」という講演を聴いてきました。講師は「新潟野球ドットコム」の岡田浩人さんです。

この日の講演は、これまでの新潟県高校野球の歴史からはじまって、今月7日から始まる全国高等学校野球選手権新潟大会の組み合わせ表に基づく戦力分析、勝敗予想、「松堀有安」など合同チーム、さらにはD e N Aで活躍している飯塚選手のことやB Cリーグ、少年野球のことま

で幅広く展開されました。「今年の大会で優勝するのは、雪だるまのように試合ごとにゴロゴロと大きくなっていくチーム」「野球をやりたいだけでがんばっているところもある」など印象に残った話がいくつもありません。

岡田さんの講演は上越では初めてでした。いま注目されている関根学園や上越高校のチーム力の分析もあったし、柿崎出身の北越高校選手などの名前も上がりました。昨年まで北越高校で活躍した吉川出身の江村選手のその後についても話がありました。上越に住んでいる野球ファンにとってはたまらない話でした。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月28日(水)	7月5日(水)
上越南消防署	0. 0 5 0	0. 0 4 3
上越北消防署	0. 0 4 7	0. 0 5 0
新井消防署	0. 0 4 7	0. 0 5 3
頸北消防署	0. 0 5 3	0. 0 4 3
頸南消防署	0. 0 4 0	0. 0 5 7
東頸消防署	0. 0 5 3	0. 0 5 0
高士分遣所	0. 0 5 0	0. 0 5 3
名立分遣所	0. 0 5 3	0. 0 5 3

市内各地で安倍内閣の暴走を糾弾



安倍内閣が6月15日、国民や市民団体などを監視する共謀罪法案を強行して以降、街頭から、「共謀罪法の廃止、憲法改悪は許してはならない」と訴えています。

こうした中で、東京都議選では安倍内閣の暴走を批判する結果が出ました。写真は先月27日、大島区で。